

学校評価中間報告について

本校では、教育目標「大原のゆとりある心を自信をもって伝えられる子に！」の実現に向けて教育活動を進めています。このたび前期の学校評価を実施し、その結果について学校運営協議会に報告し、ご意見をいただきました。

学力の育成については、「学校の学習は将来役に立つと思う」「できた・わかったと感じながら学習している」と回答した児童生徒が多く、学習に対する前向きな姿勢が見られました。また、全国学力・学習状況調査や各種学力調査においても良好な結果が見られ、日々の授業改善やきめ細かな指導の成果が表れています。一方で、自ら進んで学習する習慣の定着については引き続き課題があり、家庭と連携した取組を進めていきます。

豊かな心の育成については、「人の役に立ちたい」「地域や社会をよりよくしたい」と考える学院生が多く、本校の特色である地域学習や異年齢交流の成果が見られました。今後は、相手を思いやる心を育むとともに、自ら考え判断し行動する力をさらに伸ばしていきます。

健やかな体の育成については、体力テストや生活習慣に関する調査から一定の成果が確認できました。一方で、体力面には学年や種目による課題も見られるため、体育学習や日常的な運動機会の充実を通して体力向上に取り組んでいきます。

また、本校の特色であるキャリア教育や地域探究学習では、地域への愛着や誇りをもち、地域のために行動したいと考える学院生の姿が見られました。大原提言をはじめとする教育活動を通して、地域から学び、その学びを未来につなげる力が育っています。今後は、こうした学びを自分自身の将来や生き方と結び付けて考えられるよう取組を充実させていきます。

いじめ防止の取組については、生活相談やアンケート、日々の見守りを通して早期発見・早期対応に努めています。今後も小規模校のよさを生かし、一人一人の変化を丁寧に見取りながら、安心して学校生活を送ることのできる環境づくりを進めていきます。

学校運営協議会では、本校の教育活動について概ね肯定的な評価をいただくとともに、「縦のつながりを大切にしてほしい」「家庭学習の充実を図ってほしい」「地域と連携した取組をさらに進めてほしい」などのご意見をいただきました。

今後も学校運営協議会や保護者・地域の皆様と連携しながら、子どもたちのよりよい成長を支える教育活動の充実にも努めてまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。